



日常の景色にある SDGsを見つけてみる —その4

最近、インターネット環境の整備やタブレット端末の普及などによって、職場に通勤せずに、自宅やワーキングスペースから遠隔で仕事を行う人も増えているのではないのでしょうか。こうした多様な働き方ができる環境を整えていくことも、SDGsのゴール8「働きがいも 経済成長も」を実現するための切り口のひとつです。

昨年、亀岡市役所の地下にオープンした「開かれたアトリエ」では、打ち合わせや作業などに使えるワーキングスペースが設置され、無料でWi-Fiが使用できるなど、イン

ターネット環境も整っています。こうした場所が設けられたことで、職業などの垣根を超えてさまざまな人が集い、新しいアイデアが生み出される可能性があるはずです。

また、自宅などから遠隔で働くことの利点は、それだけではありません。通勤時に乗る自家用車やバスのエネルギーの使用量や、二酸化炭素の排出量



▲多様な視点で考え、働き方の「当たり前」をアップデートしていくことが必要だ（撮影＝江見彩香）

を削減できると考えるなど、ほかのゴールの達成に貢献できることがないか考えてみることも視野を広げてくれます。

SDGsがもたらしてくれる幅広い視点を活用しながら、あなたが実現したい「未来の働き方」はどのようなものか、家族や友人と話し合ってみてはいかがでしょう。

高木 超（たかぎ・こすも） 文章

▶ 慶應義塾大学大学院
政策・メディア研究科 特任助教
亀岡市参与（SDGs アドバイザー）

江見 彩香（えみ・あやか） 写真

▶ 元ファインダー女子広報部
女子学生による亀岡のPR隊
“ファインダー女子広報部”
（2018-2019）として活動。
現在、プロのフォトグラファー
として奮闘中！

